

アメリカ合衆国 大統領
ドナルド・トランプ 殿

新たな「核態勢見直し」(NPR) に抗議する

2018年2月8日
原水爆禁止大阪府協議会 常任理事会

トランプ政権は2月2日、新たな「核態勢見直し」(NPR)を公表した。
核兵器のない平和な世界めざす我々は、この「見直し」に満身の怒りを込めて強く抗議する。

今回の「見直し」では、通常兵器への報復にも核兵器使用の可能性を打ち出し、また小型核兵器の開発を盛り込んだ。どんなに小型の核兵器でも、ひとたび使われればその被害は甚大であり、報復によって核戦争になる危険がある。「見直し」は、核兵器を「安全保障に必要」と正当化し、戦略核兵器の3本柱(潜水艦発射弾道ミサイル、陸上配備型大陸弾道弾ミサイル、戦略爆撃機)の維持・近代化を進めるとともに、その先制的な核攻撃すら表明している。

トランプ大統領は、広島・長崎につづいて核兵器の地獄を出現させるのか。私たち戦争被爆国の国民は、北朝鮮の核兵器開発も絶対に許せないが、今回の「見直し」が北朝鮮の核兵器開発に口実を与えかねないと危惧している。世界の安全はおびやかされ、危機が深まるばかりである。

今回の「核態勢見直し」(NPR)は絶対に認められない。

再び被爆者をつくるな！核戦争が起これば人類は滅亡する。滅亡から人類を救う唯一の道は核兵器の廃絶である。被爆者を先頭に平和を願う諸国民の訴えが、戦後72年目にしてようやく、昨年核兵器禁止条約に結実した。

核兵器廃絶の声はいまや世界の趨勢になっている。「核態勢見直し」(NPR)は、世界の流れに正面から逆らうものであり、絶対容認できない。

(「核態勢見直し」(NPR)の即時撤回を強く要求する。

以 上